

# 「白く大きな手」を持つ人よ、出よ

山梨大学名誉教授・前山梨大学副学長・伊藤 洋

デキレースだの消化試  
 合だのと揶揄されながら  
 も、自民党総裁選挙は事  
 前の予想どおり「消化」  
 されたようだ。「新総理・  
 総裁がどんな「美しい国  
 へ」連れて行ってくれる  
 のか」固唾を呑んで見守っ  
 ていかなければならな  
 い。事が美醜問題なら、  
 それは趣味の問題であつ  
 て、「夢食う虫も好きず  
 き」、当方が汚いと思ふも  
 のを美しいと言われ  
 も、それは違うとは言え  
 ない道理だ。しかし、そ  
 ういう趣味の問題をは  
 かに超えて、今回の総裁  
 選で「美しくくない」、  
 「醜い」と言わなくて  
 らなかつたのは、「猟官」  
 運動の激しさだった。  
 昨秋の「郵政選挙」の  
 大勝利は、たとえて言え  
 ば振り子が振幅一杯に振  
 れていることを意味す  
 る。と、いう事は、次回  
 必ず振り戻されるに決ま  
 っているのだから、ここで  
 いっポストを得ておくこ  
 とは次回への座席予約を  
 味を考へる。「政治家は  
 拳を煩う、政治屋は次の  
 紛れも無く「政治屋」の  
 行動原理として「猟官運

動」は順当な行動といっ  
 てよい。  
 こんな暗い気分では  
 ところへ友人から一冊の  
 本（古屋五郎著「南方第  
 九陸軍病院」）ほるぶ出  
 版（）を薦められた。す  
 に絶版になった書物だ  
 が、こんな時代だからこ  
 そ必要な書物なので再  
 はできないものか、とい  
 う。メッセーじ付だった  
 が、「読んで驚いた。こう  
 いう「まっとうな」人が、  
 この国にいたということ  
 と、甲州人もうれしいこ  
 こそ誰あるう旧白州町  
 代町長古屋五郎氏だ。  
 時は1942年、旧日  
 本軍が未だ破竹の勢いで  
 東南アジアの戦線  
 を拡大している時期の中  
 と。拡大している時期の中  
 心都市パレンバンに作ら  
 れた「南方第九陸軍病院」  
 がその事件の舞台。古屋  
 さんのゆえに信頼され  
 経験のゆえに信頼され  
 補充兵ながら糧秣に配  
 当の兵長として、この世  
 属された。この時、世俗  
 には「父で盛り」の年齢  
 であつた。別盛りの年齢

し、しかし、ここにほぼ同  
時に着任してきた最高責任者である軍医大佐この部  
隊長の悪事を懸念したため、告  
発を決行した。この部隊長は死  
なぬ。この部隊長は死なぬ。  
や否や、俺は兵隊を死なぬ。  
し、で、それを使うと、力を  
ふる。う。軍事物資の横流を  
し。よ。最大に犯罪は十人  
い。た。看護士に夜に、そ  
せ。よ。つ。と。で。あ。神。異  
来。た。し。た。人。達。が。常  
殺。した。り。内。地。へ。転。自  
て。い。く。り。し。か。し。こ。の  
ツ。ブ。の。犯。行。を。咎。め。者  
幹。部。に。は。全。く。存。在。し。な  
つ。た。の。作。れ。ど。監。視。網。に  
隊。長。の。作。れ。ど。監。視。網。に  
み。入。れ。こ。れ。不。密。告。を。担  
当。す。る。に。ぎ。な。屋。さ。ん。一  
兵。卒。的。に。傷。つ。き。な。が。ら  
は。後。的。に。傷。つ。き。な。が。ら  
も。一。人。の。看。護。士。と。人。を  
り。た。敢。然。と。立。ち。上。り。訴  
た。で。あ。然。と。本。人。に。直。つ  
の。も。受。け。入。れ。を。東。京。と  
い。る。に。密。告。し。、そ。の。と  
で。軍。法。會。議。に。か。け。られ  
た。わ。れ。中。と。揉。み。消。し。が  
け。れ。終。的。に。自。ら。も。1。年  
7。ヶ。月。の。禁。固。刑。を。受。け。な  
が。ら。も。敗。戦。と。共。に。無。罪。を  
功。し。敗。戦。と。共。に。無。罪。を  
勝。ち。取。つ。た。郷。里。に。還。し  
た。の。で。あ。る。郷。里。に。還。し

件を葬り去って軍は解体  
した。昭南（筆者注）の  
の。シ。ン。ガ。ポ。ール。の。日  
名。の。陸。軍。刑。務。所。で。こ  
よ。う。な。た。か。い。な。い。ぞ  
だ。実。に。"も。上。官。に。反。す  
男。た。ち。が。も。と。に。官。に。さ  
る。罪。名。の。も。と。に。私。刑。の  
て。い。く。名。の。も。と。に。私。刑。の  
略。は。悲。し。い。こ。う。も。お。い  
戦。は。あ。つ。ま。ま。あ。ら。い。な  
が。ら。勝。つ。て。ま。ま。あ。ら。い  
日。本。が。勝。つ。て。ま。ま。あ。ら  
か。い。お。そ。う。な。く。た。あ。ら  
大。の。不。幸。で。は。な。か。つ。た  
と。そ。う。し。た。意。味。で。私。は、  
信。じ。たい。"。神。風。が。存在。した  
せ。書。き。に。山。梨。中。央。銀。行  
元。頭。取。息。に。古。屋。五。郎。氏  
ご。子。息。に。あ。た。り。て。氏。を  
介。す。る。に。あ。た。り。て。氏。を  
が。白。く。と。い。は。る。非。手  
ひ。し。る。人。と。い。は。る。非。手  
を。も。つ。と。表。し。たい。う。の。歌  
こ。れ。も。つ。と。表。し。たい。う。の。歌  
民。党。総。裁。選。に。良。い。話。を。あ  
ら。さ。ま。な。業。を。見。た。り。か  
政。治。家。の。所。業。と。見。たり。か  
い。た。り。し。て。十。字。星。の。よ  
五。郎。氏。が。南。輝。い。て。見。え。う  
に。燦。然。と。輝。い。て。見。え。う  
参。議。院。選。に。知。事。選。と。大。き  
な。政。治。の。選。に。知。事。選。と。大  
し。政。治。の。選。に。知。事。選。と。大  
推。薦。の。官。に。選。と。大。き  
れ。き。な。官。に。選。と。大。き  
大。き。な。官。に。選。と。大。き  
人。を。手。が。多。い。と。聞。か。さ  
た。草。の。根。が。多。い。と。聞。か。さ  
し。た。い。も。の。根。が。多。い。と。聞。か。さ